

フィンランド語文法

第14回



今日の授業

今回は、以前学んだ所有接尾辞をもう一度取り上げます。また、新しい格として変格の用法を学びます。さて、前期も終わりに近づいてきましたが、フィンランド語はどの程度身についたでしょうか。最近のニュースをやさしめのフィンランド語(Selkouutiset)で聴いて、どの程度理解できるか試してみましょう。

今日のポイント

所有接尾辞は格語尾の後ろにつけますが、階程交替も関わるので案外複雑です。特に、所有接尾辞をつけると、単数主格形と属格形、複数主格形が同じ形になってしまうことに注意しましょう。

今日の一枚

写真は、マーケット広場の東に建つウスペンスキー大聖堂(Uspenskin katedraali)です。北欧ないし西欧の正教会の寺院としては最大の規模を誇っています。フィンランド人は大半がルター派に属していますが、フィンランド東部を中心に正教会の信者もいます。フィンランドの東部はカレリア地方と言い、フィンランド人が誇る民族叙事詩カレワラ(Kalevla)の元となった詩もこの地方で採集されました。しかし、第二次世界大戦中にソ連と戦って敗れた結果、カレリア地方の大部分はロシア領になっています。